

潮流

1月～3月のメモ

活動メモ
機関紙・誌／自主流通紙・誌
新刊書籍

構成 編集部

活動メモ

- 1・18 岩国「ほびつと」閉店
- 1・28 狭山差別裁判抗議の集会 狭山事件の完全無罪判決を勝ち取るために、最高裁へ上告趣意書を提出。これにあわせて、全国各地で部落解放同盟を中心とした狭山共闘主催の集会とデモが行なわれた。
- 2・11 靖国法案反対・天皇元首化反対関西集会（大阪） 反靖国反天皇制連続講座実行委員会主催） ヤスクニ・天皇からの解放—戦後民主主義を問うパネル・ディスカッション（東京） 第四回紀元節粉砕講演集会（東京 同実行委）
- 2・18 読む権利を考える集会 表現活動、出版物流通の自由を奪わせないための闘争

を進めている読む権利を奪わせない連絡会が主催（東京）。

- 2・22 三里塚・岩山大鉄塔撤去—道路建設阻止総決起集会 三里塚芝山連合空港反対同盟主催。農民・労働者・学生・市民が約五千名参加し、岩山鉄塔実力死守、北総台地全域への闘争拡大、五つの裁判闘争での徹底した闘い、ジェット燃料暫定輸送反対運動との共闘、労働者との共闘などの基本方針を確認した。
- 3・10（4・10） しいたけ栽培キャンプ 弥栄之郷共同体 島根県那賀郡弥栄村三里にて、しいたけの原木の切り出しを中心にして、分けてキャンプが行なわれた。
- 3・13（14） 韓国へ公害輸出する日本化学への抗議集会とデモ 日韓連帯連絡会議・高山化学の公害輸出をやめさせる実行委主催。

機関紙・誌／自主流通紙・誌

- 3・18（21） 春のキャンプ 日本アナキズム研究センター主催 静岡県富士宮にて、研究センターの資料類の整理を中心にキャンプが開催された。（七五年度「報告書」および今年度の「事業計画書」が発表されている。連絡は、富士宮郵便局私書箱2号）
- 3・21（31） 日本化学のウルサン工場操作に反対するチョウチンデモ。
- 3・27 ロッキード事件憤激市民大集会・市民党直撃包围デモ（東京）

1月

- ▽長征 20号（川崎市多摩区登戸795 長谷川気付）
- ▽むくげ通信 34号（むくげの会 神戸市垂水区多聞台3-10-25-1 飛田方）
- ▽サルートン 188（9号）（大阪市阿倍野区旭町2-12-2 泉原文化10 向井考）
- ▽休火山ふじ 45号（富士市今泉8-9-5 田中延雄）
- ▽らくがき 18号（姫路市日の出町1-13-1 井上英一）
- ▽ごんみゅん 5号（神戸共同文庫 神戸市葦合区上筒井通6-2-13）
- ▽松原の一軒や 1号（海王星出版局 埼玉県草加市草加5-4-12 松原の一軒や）

- ▽準備会ニュース 10号（無政府主義者連盟 関西地方準備会 京都市東山区山科北花山六反田町26-18 晴栄荘内 奥田気付）
- ▽準備会通信 2号（無政府主義者連盟東海地方準備会 名古屋市昭和区荒田町4-26 伊東章好気付）
- ▽ぐずらだより 5号（東京都小金井市本町4-6-645 ひろせしんじ）
- ▽自立 1号（同編集委 長野市篠ノ井布施五明160の5サークル自立連絡事務所）
- ▽公害を逃すな 26号（32号）（富山化学の公害輸出をやめさせる実行委 東京都文京区白山1-37-9 自主講座分室内）
- ▽イオム 10号（イオムの会 神戸市葦合区熊内町1-5-13）
- 2月
- ▽黒旗の下に 8号（東京都文京区後楽2-1715 シライビル4F）
- ▽COMMUNITY 15号（栃木県今市市栄町2083 J・C・M）
- ▽公害を逃すな 28（30号）
- ▽自立 2号
- ▽労働者の連帯 1号（地域労働運動研究会 東京都北区桐ヶ丘1-3-1E40-1406 前野方）
- ▽たんばぼ新聞 6号（市民組合 堺市向陵中町1-3-8 森田方）

- ▽処女地帯頭脳戦線 2月号（秋田市将軍野南1-10-28 草階俊雄）
- ▽岳麓労働（富士官版） 1号（富士地区合同労働富士官居住分会 大中里700）
- ▽子供たちから子供たちへ 3号（地球の子供たち 東京都渋谷区渋谷4-15-18）
- ▽大拘縛弾 2号（大阪拘留所内虐殺事件対策会議 関西救援センター内）
- ▽労働運動 16号（富士地区一般産業合同労働組 富士市伝法上中町2719の3）
- 3月
- ▽あさひまちWRI 5号（大阪市阿倍野区旭町2-12-2 水田ふう）
- ▽むくげ通信 35号
- ▽長征 21号
- ▽コミュニケーション 25号（コミュニケーション百人委員会 大阪市東成区玉津二丁目東成玉津郵便局留）
- ▽処女地帯頭脳戦線 3月号
- ▽大道貫古今 11号（岩佐佐太郎遺稿集刊行会）
- ▽岳麓労働 126号（富士地区一般産業合同労働組）
- ▽岳麓労働（富士官版） 2号
- ▽らっかさん 1号（自衛隊と連帯し習志野基地を解体する会 千葉県市川市中山3-8-13 浄鏡寺 蓮華庵内）

- ▽MILKY WAY 2号（マルチ・メディア・センター 東京都石神井町1-6-10 波寿美荘3号 大友気付）
- ▽空港反対ニュース 17号（泉州沖に空港をつくらせない堺住民の会）
- ▽木麻黄16号（沖繩CTS問題を考える会）
- 定期刊行書
- ▽リベルテール 1（3月号）（リベルテールの会 東京都練馬区大泉学園町2190）
- ▽月刊協同体 135（7号）（日本協同体協会 栃木県今市市栄町2083）
- ▽かわら版 1（3月号）（京都市左京区岩倉木野町137 京都精華短大片桐研究室）
- ▽モテック通信 22（23号）（東京都新宿区新宿2-4-19 模索舎気付 同編集部）
- ▽月刊市政研 138（40号）（豊田市政研 愛知県豊田市宮上町2-20B-136 渡久地）
- ▽月刊地域闘争 1（3月号）（ロシナンテ社 京都市左京区下鴨松ノ木町85）
- ▽新左翼 240（8号）（新左翼社 大阪市北区池田町21番安田B）
- ▽リベロ 37（39号）（リベロ社 京都市左京区田中門前町28-15）
- ▽救援 81（83号）（救援連絡センター 東京都港区新橋2-8-16 石田ビル4F）
- ▽生活者 45（47号）（横浜市戸塚区田谷町1-931 加藤彰彦）

「直接行動」創刊号より

1、私はどのような戦争も支持しない。したがって軍隊のどのような部署にもつかず、兵器や戦争用資材を製造したり、取り扱う職業に着かないことを決意する。また国家の戦争遂行に、直接役立つたり助けること的一切を拒否し、それゆえ戦争や兵役から自由にならうと望む人を助け、その行為の達成に協力する。

2、私は戦争原因の除去のために、出来る限り行動する。

戦争は、侵略的、競争的、経済組織や、階級、人種、民族、宗教、イデオロギー、差別そしてとくに国家についての誤った一般観念がその原因となっている。私は、単に戦争を否定するのではなく、戦争原因の根源と闘い、相互扶助の自治管理社会をめざす方向において、戦争を消滅させるため、自分の努力をつくす。

3、私は、自分の実践行動の基盤に非暴力直接行動をおく。

国家間で行なわれる戦争は、暴力の最大のものであり、それはまた権力が自己を維持するために最後の拠り所とする人民抑圧の装置

でもある。

もし権力と闘って、かりに人民の側が勝利することができたとしても、それが暴力によるものであるかぎり、かならず新しい権力装置を生み出すことになるだろう。歴史はその方向が決して人類に真の自由と解放をもたらさないことを教えている。とすれば、いまだのように困難であらうとも私の取る道は、暴力の悪循環を断つ非暴力直接行動以外にない。

以上三つの立場にもし私が反するようなことがあった場合、それを自覚すると否にかかわらず、私はW R Iメンバーである資格を自動的失い、自ら除籍されるものであることを承認する。

しかし、その時もお私は、W R I支持者としてとどまり、誤りを正すことによって再登録し、メンバーにもどる最大の努力をする。

メンバーの任務

W R Iの真の力は、個人が自立して自分の責任において行動する個人の自覚のうちにあり。したがって個人は、W R Iに所属するの

ではなく、自己をW R Iとして発揮するのであるから、W R Iに対しての責任・義務は自己に対しての責任・義務として、自ら履行すること以外に一切ない。もちろん任務や活動についてどんな強制も課せられない。このことが以下の前提である。

W R Iメンバーとしての私の任務は、第一に△戦争抵抗運動▽△反戦平和運動▽△反核・反自衛隊・反基地運動▽および、それと関連し提携する各種の反権力運動を支持し、自分のなし得る方法で具体的に協力することである。

それらの運動は、国家権力とその組織一般がもつ権力主義的傾向によって、しばしば分断され、時には対立している。その切断された間隙を埋めるために周辺の運動に積極的に接触し、W R Iがその役割とする組織間の情報交流、共同行動、分業的提携、相互支援の関係をつくりだし、その自由連合の媒体となることである。

第二に、軍務忌避や戦争抵抗者、さらに広く国家権力との闘争によって逮捕された者の投獄、監禁、処刑、追放に救援の手をさし、自由を回復させるために働くことである。そのために独自の、またはすでにある救援組織に参加し、具体的個別的救援活動をおすすめる。

第三に、非暴力直接行動を実践し発展させ、日常における力として具体化することである。その第一歩は、いまほとんどその力としての意味を失なっている非暴力直接行動を自覚的にとらえ直すことであり、それと併行した研究会、集会、トレーニングセミナー、宣伝活動である。

さらにW R I宣伝誌「直接行動」その他をひろめ、できうれば新しいメンバーと支持者をつくることである。

第四に、W R I日本の特徴は、第一に△反戦▽△反権力▽と△個人の決意▽責任▽。第二に△運動の連合▽△抵抗者との連帯と救援▽。第三に△非暴力直接行動▽、そして第四は△インターナショナル▽である。

W R I日本の小さな活動は、各国W R Iと△不可視の連合▽によって結ばれ、相互に力となりあうことによって、世界的な活動の一翼としての意味をもっている。

その確信はまた私に、各国W R Iの活動やその訴えに関心を向け、自分の可能な方法で応える努力をひろげるだろう。

その具体的な問題提起や行動は、ニュースレターその他で連絡されることになる。

登録・問い合わせ・その他連絡は、

大阪市阿倍野区旭町2-12-2

泉原文化10 W R I、大阪 宛

▽関西救援センター 60-62号(関西救援連絡センター 大阪市北区浪花町125)
▽名前のない新聞 91-93号(東京都武蔵野市御殿山1-6-13丸信コーポ202号)

〔新刊書籍〕

▽筑豊の黒旗 △思い出の断片▽

杉藤二郎 神戸共同文庫

▽宇宙人の聖書△天皇ヒロヒトにパチンコを撃った犯人の思想・行動・予言▽

奥崎謙三 サン書店 900円

▽戦後アナキズム運動試験

久保隆 北冬書房 1200円

▽銅鑼が鳴る△築地小劇場の思い出▽

横倉辰次 未来社 1000円

▽地球の家を保つには

△エコロジーと精神革命▽

ゲリー・スナイダー 片桐ユズル訳

社会思想社 1300円

〔雑誌論文〕

▽ロシア革命とクロボトキン 左近毅

『現代思想』2月号

▽評伝・大杉栄7-9 秋山 清

『思想の科学』1-3月号

△告知版▽

労働者自主講座

日時 毎月第三日曜日

主催 地域労働運動研究会

連絡 東京都北区桐ヶ丘1-3-E40-40

6 前野方 TEL 90819390

神戸無政府主義青年研究会

日時 隔週火曜日 六時半から

会場 神戸共同文庫

神戸市葺合区上筒井通6-2-13

編集部より

読者相互の情報交換の場として、また読者と編集部とのあいだの交流の場としての△潮流▽の欄の充実のため、編集部宛に新聞やビラ・パンフレットを送ってください。個人で発行しているもの、グループの活動報告、集会やデモ参加を訴えるビラ、その他自立をめざしたあらゆる思想・運動等の活動およびその報告、各種団体の機関誌紙を広く紹介していこうと考えています。△送り先▽

東京都千代田区神田神保町2-132

大同会館内 現代思想社気付

アナキズム編集委員会